

1 単元 「北九州在住の留学生が好みそうな北九州近辺のオススメスポットを紹介しよう。」

2 指導観

- 日本政府観光局によると、2023年7月の訪日外客数は約232万人と推計され、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年と比較して約77%の水準まで回復している。このことから、日本国内で外国人に外国語を用いて、自分が住んでいる地域や日本のことについてやり取りを行う必要性が高まってきていると言える。しかし、令和5年度全国学力・学習状況調査報告書によると、話すこと[やり取り]の問題の平均正答率は14.5%であり、即興で伝え合うこと及び日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことに課題があると指摘されている。また、同報告書では『『その場で』とは、相手とのやり取りの際、それまでの学習や経験で蓄積した英語での話す力・聞く力を駆使して、自分の力で質問したり、答えたりすることができるようになること』と述べられている。よって、日常的な話題について、自分の力を駆使して外国語でやり取りを行う力を育むことは外国語科の喫緊の課題と考える。

本単元は、北九州在住の留学生のニーズに合わせて、北九州近辺のオススメスポットを紹介できるようになることをねらいとしている。学習内容としては、単元の課題の把握、関係代名詞の用法の学習、ペアとのやり取りの練習、ALTとのリハーサル、留学生へのオススメスポットの紹介などがある。このように、北九州近辺のオススメスポットを紹介するという日常的な話題について、目的・場面・状況が明確であるコミュニケーションの場を設定し、教師からのフィードバックを受けながら言語活動を繰り返し行うことは、日常的な話題について自分の力を駆使して外国語でやり取りをする力を育む上で意義深い。

- 本学級の生徒は男女計〇名で構成される。4月から6月までの帯学習において、talking marathonという活動を行った。この活動では、4つの話題の中から日替わりで1つの話題についてペアと英語でやり取りさせ、振り返りを行わせた。その後、4つの話題の中からランダムに選ばれた1つの話題についてALTとやり取りを行わせた。このやり取りは「応答」(ALTの質問に適切に応答するだけでなく、具体例や経験、追加の情報などを加えることができたか)と「質問」(ALTの出身国であるイギリスについて、会話の流れに沿って質問できたか)の2観点からALTが評価を行った。「応答」でB評価だった生徒の割合及び「質問」でB評価だった生徒の割合は〇%、〇%であった。このことから、多くの生徒がある程度情報を加えながら英語でやり取りを行うことや質問することができていることが分かる。しかし、B評価を得た生徒であっても「今までのtalking marathonでは片方が一方的に話すことが多くて、それについて質問したり、考えを言ったりするなどの受け答えの仕方の練習ができていなかったため、次からは会話をリズムよく繋げられるようにもっと練習していきたいです。」と記述するなど、相手の発話に対してうまく意見や考えを述べることができていないという内容の記述も見られた。そこで、留学生のニーズを探り、それに合ったオススメスポットを紹介する活動を通して、自分の力を駆使して外国語でやり取りをする力を育むことは大変意義深い。
- 本単元の指導にあたっては、留学生のニーズに応じた北九州近辺のオススメスポットについて、その場所を勧める理由やその場所の情報などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできるようにしたい。そのためにまず、単元の課題を把握し、北九州近辺のオススメスポットの情報を整理させる。ここでは、教師がALTに長崎のオススメスポットを紹介する動画を視聴させる。その際、必要なオススメスポットの情報を整理させるために、どのような内容を教師がALTに紹介したかメモをとらせる。次に、関係代名詞の用法の学習をさせる。ここでは、関係代名詞を用いさせて、オススメスポットを詳しく説明する英文を書かせる。その際、生徒が何を書くべきか迷うことなくスムーズに英文を書けるようにするために、第一次に行ったウェビングを参考にさせる。さらに、ペアとオススメスポットを紹介するやり取りの練習を行わせる。ここでは、同じ生徒と2回やり取りの練習を行わせる。その際、やり取りを適切に振り返らせるために、やり取りの様子を録画させ、振り返りを行う前に視聴させる。最後に、北九州在住の留学生が好みそうな北九州近辺のオススメスポットを紹介させる。ここでは、留学生とのやり取りの後に単元の振り返りを行わせる。その際、本単元での学びが他の話題のやり取りにも活かされるようにするために、具体的な表現だけでなく、本単元を通して学んだコミュニケーションストラテジー（以下、CS）や、適切な話題の選び方についても振り返りを行わせる。

3 目 標

- 北九州近辺のオススメスポットについて、その場所を勧める理由やその場所でできることなどを整理し、関係代名詞などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。
- 留学生のニーズに応じて、北九州近辺のオススメスポットについて、その場所を勧める理由やその場所の情報などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。
- 留学生のニーズに応じて、北九州近辺のオススメスポットについて、その場所を勧める理由やその場所の情報などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

4 計 画 (全 11 時間)

- | | | |
|-----|---|-------------|
| 第一次 | 単元の課題を把握し、北九州近辺のオススメスポットの情報を整理する | 1 時間 |
| 第二次 | オススメスポットを紹介するために必要な表現である関係代名詞について学ぶ | 3 時間 |
| | (1) 目的格の関係代名詞の用法を学び、オススメスポットを訪れる目的を説明する | 1 時間 |
| | (2) 主格の関係代名詞 who の用法を学び、その場所がどんな人にふさわしいか述べる | 1 時間 |
| | (3) 主格の関係代名詞 which の用法を学び、オススメスポットを詳しく説明する | 1 時間 |
| 第三次 | 正確な表現で適切な内容を紹介する練習を行う | 6 時間 |
| | (1) 自分の力を駆使して正確に紹介するためのコツとして CS について学ぶ | 1 時間 |
| | (2) 適切な内容を紹介するために留学生とのやり取りの際に留意することについて考える | 1 時間 |
| | (3) ペアとの練習を通してオススメスポットの紹介の際に使える表現を見つける | 1 時間 |
| | | (本時 7 / 11) |
| | (4) リハーサルとして ALT にオススメスポットを紹介する | 2 時間 |
| | (5) リハーサルでのやりとりの文字起こしを行い、内容や表現を振り返る | 1 時間 |
| 第四次 | 北九州在住の留学生が好みそうな北九州近辺のオススメスポットを紹介する | 1 時間 |

5 本 時 令和 5 年 ○ 月 ○ 日 (○) ○ 校 時 計 画 第三次の 3 3 年 ○ 組 教室にて

(1) 本時の指導観

前時までに生徒は、CS を意図的に使う活動や適切な内容を紹介するために留意すべきことを考える活動を通して、自分の力を駆使して適切な内容を紹介する方法について学んでいる。そこで本時では、ペアとオススメスポットを紹介する活動をとおして、オススメスポットを紹介する際に用いる表現の意味や働きを振り返りに記述することができるようになることをねらいとする。そこでまず、前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。ここでは、適切な内容を紹介させるために、前時に学んだ内容と英語での表現を振り返らせる。次に、ペアで 1 回目のやり取りを行い、視点に沿って振り返りを行う。ここでは、やり取りを適切に振り返らせるために、やり取りの様子を録画させ、振り返りを行う前に視聴させる。また、学級内でよく見られた課題の解決方法やどのような話題でも使えるような汎用的な表現を学級で共有させるために、個人での振り返りを書かせた後、教師がフィードバックを行う。さらに、ペアで 2 回目のやり取りを行い、視点に沿って振り返りを行う。ここでは、1 回目のやり取りでうまく話せなかった点を改善させるために、ペアを変えずに 2 回目のやり取りを行わせる。最後に、本時の振り返りを行う。ここでは、本時の授業を通して見つけた表現を次時以降のやり取りでも使えるようにするために、表現だけでなく、その表現を使う場面や目的も記述させる。

(2) 主 眼

- ペアとオススメスポットを紹介する活動をとおして、オススメスポットを紹介する際に用いる表現の意味や働きを振り返りに記述することができる。

(3) 準 備

- ①学習プリント ②タブレット ③ヘッドセット

(4) 過程

学習活動・内容	指導上の留意点 (○) と評価 (◇)	形態	配時																
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 適切な内容を紹介させるために、前時に学んだ内容と英語での表現を振り返らせる。</p> <p>○ 自分の力を駆使してやり取りを継続させるために、自分が使いやすいCSを振り返らせる。</p>	一斉	5																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて オススメスポットを紹介する時に使える表現を見つけよう。</p> </div> <p>2 ペアで1回目のやり取りを行い、振り返りを行う。</p> <p>(1) ペアでやり取りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒のやり取りの一部】</p> <p>A: Why did you come to Japan? B: Because I'm interested in Japanese anime, Japanese manga, Japanese food, and so on. A: Oh... OK. I recommend you to visit Aruaru City. B: Can I eat Japanese food there?</p> </div>	<p>○ スムーズに紹介を行わせるために、第一次で行ったウェビングを基にやり取りを行わせる。</p> <p>○ 留学生役の生徒がスムーズにやり取りできるようにするために、留学生カードを使用させる。</p> <p>○ やり取りを適切に振り返らせるために、やり取りの様子を録画させ、振り返りを行う前に視聴させる。</p> <p>○ やり取りを振り返らせる際に、自分のやり取りに足りない内容に気づかせるために、第一次で示したモデル対話やルーブリックを必要に応じて参考に指示する。</p>	ペア ↓ 個 ↓ 一斉	18																
<p>(2) 録画したやり取りを視聴し、振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される生徒の振り返り】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">言えなかったこと</th> <th style="width: 50%;">表現</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あるある City の説明ができなかった。</td> <td>People who like Japanese anime will enjoy Aruaru City.</td> </tr> </tbody> </table> </div>	言えなかったこと	表現	あるある City の説明ができなかった。	People who like Japanese anime will enjoy Aruaru City.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【本単元のルーブリック】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Required Information (要求された情報)</td> <td>留学生が欲しい情報だけを示すのではなく、関連した情報や質問を付け加えている。</td> <td>留学生が欲しい情報を示している。</td> <td>留学生が欲しい情報を示していない。</td> </tr> <tr> <td>Response (回答)</td> <td>留学生からの質問に適切に答えるだけでなく、関連した情報や質問を付け加えている。</td> <td>留学生からの質問に適切に答えている。</td> <td>留学生からの質問に適切に答えていない。</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>○ 学級内でよく見られた課題の解決方法やどのような話題でも使えるような汎用的な表現を学級で共有させるために、個人での振り返りを書かせた後、教師がフィードバックを行う。</p> <p>○ 話し手が話しやすい環境を作らせるために、教師からのフィードバックの中でMaintenance Strategiesなどの使用を促す。</p>		A	B	C	Required Information (要求された情報)	留学生が欲しい情報だけを示すのではなく、関連した情報や質問を付け加えている。	留学生が欲しい情報を示している。	留学生が欲しい情報を示していない。	Response (回答)	留学生からの質問に適切に答えるだけでなく、関連した情報や質問を付け加えている。	留学生からの質問に適切に答えている。	留学生からの質問に適切に答えていない。		
言えなかったこと	表現																		
あるある City の説明ができなかった。	People who like Japanese anime will enjoy Aruaru City.																		
	A	B	C																
Required Information (要求された情報)	留学生が欲しい情報だけを示すのではなく、関連した情報や質問を付け加えている。	留学生が欲しい情報を示している。	留学生が欲しい情報を示していない。																
Response (回答)	留学生からの質問に適切に答えるだけでなく、関連した情報や質問を付け加えている。	留学生からの質問に適切に答えている。	留学生からの質問に適切に答えていない。																
<p>(3) 教師からのフィードバックを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ People who like anime will enjoy... <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>人の情報を加えられる</p> </div>	<p>○ 1回目のやり取りでうまく話せなかった点を改善させるために、ペアを変えずに2回目のやり取りを行わせる。その際、英語が苦手な生徒が留学生役であってもやり取りを継続できるようにするために、留学生カードに載っている質問を行うよう促す。</p> <p>○ 1回目のやり取りの後の振り返りや教師からのフィードバックを2回目のやり取りに反映させるために、授業のワークシートを見ながらやり取りを行うよう指示する。</p> <p>○ 適切な内容を紹介できたか紹介する生徒に確認させるために、留学生役の生徒に意見を述べさせたり、感想を尋ねさせたりする。</p>	ペア ↓ 個 ↓ 一斉	18																
<p>3 ペアで2回目のやり取りを行い、振り返りを行う。</p> <p>(1) ペアでやり取りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される生徒のやり取りの一部】</p> <p>A: Do you like Japanese Anime? B: Yes. I like ONE PIECE very much. A: I see. I recommend you to visit Aruaru City. People who like anime will enjoy it because you can buy anime goods. B: How can I get there?</p> </div> <p>(2) 録画したやり取りを視聴し、振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される生徒の振り返り】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">言えなかったこと</th> <th style="width: 50%;">表現</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あるある City への行き方を言えなかった。</td> <td>You can get there by train.</td> </tr> </tbody> </table> </div>	言えなかったこと	表現	あるある City への行き方を言えなかった。	You can get there by train.	<p>○ 本時の授業を通して見つけた表現を次時以降のやり取りでも使えるようにするために、表現だけでなく、その表現を使う場面や目的も記述させる。</p> <p>◇ 本時のやり取りにおける課題を克服するための表現とその表現を使用する場面や目的を振り返りに記述できたか。</p> <p style="text-align: right;"><学習プリント分析></p>	個 ↓ 一斉	9												
言えなかったこと	表現																		
あるある City への行き方を言えなかった。	You can get there by train.																		
<p>4 本時の振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される生徒の振り返り】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">表現</th> <th style="width: 50%;">目的や場面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>People who like ~ will enjoy it.</td> <td>どんな人がその場所を楽しめるか説明するとき。</td> </tr> <tr> <td>get there by ~</td> <td>行き方の説明</td> </tr> </tbody> </table> </div>	表現	目的や場面	People who like ~ will enjoy it.	どんな人がその場所を楽しめるか説明するとき。	get there by ~	行き方の説明													
表現	目的や場面																		
People who like ~ will enjoy it.	どんな人がその場所を楽しめるか説明するとき。																		
get there by ~	行き方の説明																		